

## プラグインハイブリッド自動車排出ガス・燃費測定方法について

## 1. 背景

国土交通省では、「プラグインハイブリッド車排出ガス・燃費測定方法策定検討会」を平成20年2月より同年12月までの間、計4回開催し、プラグインハイブリッド自動車の普及に向けた環境整備のため、プラグインハイブリッド自動車の特性を適切に評価できる排出ガス・燃費測定方法について検討を行いました。今回の改正は、同検討会における検討結果を踏まえたものです。

## 2. 改正概要

(1) 排出ガスの測定について(細目告示別添 42、48、49 関係)

プラグインハイブリッド自動車の排出ガス測定については、従来のハイブリッド自動車と同様の取扱いとします。具体的には、冷機状態におけるハイブリッド走行での排出ガス性能値と暖機状態におけるハイブリッド走行での排出ガス性能値を複合することにより、排出ガス性能値を算定します。

※ ただし、任意の充電レベルから開始した冷機状態でのプラグイン走行を含む試験サイクルにおいて、冷機状態におけるハイブリッド走行での排出ガス性能値よりも悪い排出ガス性能値が認められる場合は、当該性能値を使用するものとします。

(2) 燃費性能の評価方法及び表示について

プラグイン走行(外部充電による電力を用いた走行)時の燃料消費率(「プラグイン燃料消費率」と、ハイブリッド走行時の燃料消費率(「ハイブリッド燃料消費率」とを複合した代表燃費値として、「複合燃料消費率(プラグインハイブリッド燃料消費率)」を算定します。

なお、プラグインハイブリッド自動車は、その特性上、個々のユーザーの使い方、特に実際の走行においてプラグイン走行をどの程度活用するか(一日あたりの走行距離に占めるプラグイン走行の割合)が、実際の燃料消費量や燃費性能に大きな影響を及ぼすという特徴を有しています。

このため、個々のユーザーが自らの使用実態に即した形で、実際の「複合燃料消費率(プラグインハイブリッド燃料消費率)」を概算したり、年間、目安電力使用量、電気料金等を概算することができるよう、関連の基本性能値を併せて表示することとします。

さらに、エアコン使用による電気エネルギーの消費が、プラグイン走行の可能な距離、燃費性能に大きく影響するなどの特性についても、カタログへの表示等により注意喚起を促すこととします。

## &lt;燃費性能表示項目&gt;

(代表燃費値)

- 複合燃料消費率(プラグインハイブリッド燃料消費率) (km/L)

プラグイン燃料消費率とハイブリッド燃料消費率を複合して算出する代表燃料消費率

※ この場合において、各燃料消費率の複合は、全体の走行に占めるプラグイン走行の貢献割合(ユーティリティファクター)を勘案して行う。

(その他のエネルギー消費効率、個々のユーザーの実態に応じた燃費値の概算等に必要な基本性能値)

- ハイブリッド燃料消費率 (km/L)  
ハイブリッド走行(Charge Sustaining 走行)時の燃料消費率
- プラグイン燃料消費率(充電電力使用時燃料消費率) (km/L)  
プラグイン走行(外部充電による電力を用いた走行。Charge Depleting 走行)時の燃料消費率
- プラグインレンジ(充電電力使用時走行距離) (km)  
外部充電による電力を用いて走行可能な距離
- 電力消費率 (km/kWh)  
プラグイン走行時の電力消費率

(その他の参考諸元値:、年間目安電力使用量及び電気料金の概算、性能比較評価等に必要な諸元値)

- 等価EVレンジ(EV 走行換算距離) (km)  
プラグインレンジのうち、バッテリーに蓄電した外部電力により行った仕事量に相当する部分(仮に外部電力のみをエネルギー源とした場合にこれにより走行可能な距離)
- 一充電消費電力量 (kWh/回)  
一回の充電において消費する電力量

### 3. 適用時期

平成21年8月1日以降に製作された自動車に適用します。